

教科〔社会地理〕第〔2〕学年	年間指導計画	
	月	学習内容
<p>※到達目標</p> <p>(1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土に対する認識を養う。</p> <p>(2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかわりでもとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色をとらえるための視点や方法を身に付けさせる。</p> <p>(3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。</p> <p>(4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。</p>	4	<p>2年</p> <p>第1章</p> <p>第2節</p> <p>世界から見た日本の人口</p> <p>第3節 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業</p> <p>第4節 世界と日本の結びつき</p>
<p>※評価の観点・方法</p> <p>評価の観点・方法</p> <p>1. 関心・意欲・態度(提出物＝ノート、ワーク、ファイル)</p> <p>地理的事象に対する興味・関心を高め、授業に積極的に取り組むとともに、課題などを通して意欲的に追求しようとする。</p> <p>2. 思考・判断(定期テスト)</p> <p>日本・世界の各地域的特色について、授業の中で課題を設定して考察し、説明できる。</p> <p>3. 技能・表現(定期テスト)</p> <p>学習に必要な資料を集めて活用し、まとめて発表できる。</p> <p>4. 知識・理解(定期テスト、夏休み明けテスト)</p> <p>地理的分野の学習に必要な基本用語を身につけ、日本の各地域、日本と他の国との関わりを理解している。</p>	6	<p>3章 日本の諸地域</p> <p>① 九州地方</p> <p>② 中・四国地方</p> <p>③ 近畿地方</p> <p>④ 中部地方</p> <p>⑤ 関東地方</p>
<p>※使用教材</p> <p>教科書 新しい社会 地理 東京書籍</p> <p>新編 中学校社会科地図 初訂版 帝国書院</p> <p>ワーク 新しい社会基礎・基本徹底ワーク 地理 東京書籍</p>	9	<p>⑥ 東北地方</p> <p>⑦ 北海道地方</p> <p>⑧ 日本を眺めて</p> <p>第2章 世界の諸地域</p> <p>1節 アジア州</p> <p>2節 ヨーロッパ州</p> <p>3節 アフリカ州</p>
<p>※学習上の注意・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業道具を忘れない。 ・授業中、先生の説明をしっかりと聞く。 ・発言者の意見をしっかりと聞く。 ・ノートの記入をきちんとすることと自分でまとめたことも記入する 	10	<p>11</p> <p>12</p>
<p>※家庭学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の復習をする。 ・家庭で地図を活用する習慣を身につける。 ・新聞記事を読み、さまざまなニュースや事象に対して関心を 	1	<p>2</p> <p>第4節 北アメリカ州</p> <p>第5節 南アメリカ州</p> <p>第6節 オセアニア州</p> <p>3</p>

高める。

||

|